

協議会の総括

事務局が提示した9つの整備案のうち、実現可能性(事業費、補償件数)について課題が大きい3案を除く6案を選択肢とし、下表のとおり評価をとりまとめた。さらに3名の学識経験者委員(大橋委員、久保田委員、矢野委員)から、整備案Bについて優先的に検証・調整を進めることを推奨する意見が付された。

整備案	整備案概要図	交通機能	史跡空間	実現可能性		
				事業費	補償件数	
整備案B 西側T字4車線		<ul style="list-style-type: none"> 朝夕ピーク時等において、交差点に起因する渋滞等が生じる可能性がある。 道路が屈曲することによって起因する衝突事故が発生する可能性がある。 ⇒渋滞対策、事故防止に関する詳細な検証が必要。 安全性等に配慮した適切な交差点設計が不可欠。 ※信号の設置等については、公安委員会との協議が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 古墳の本質的価値が保全され、神社境内と古墳を一体的に回遊することが可能である。 古墳北側の駐車場候補地から平面的に古墳へのアクセスが可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 約5億円(最小) 	<ul style="list-style-type: none"> 建物補償 3件(うち再補償1件) 用地買収 1,400㎡ 11件(うち再買収1,200㎡ 9件) 	
整備案G 西側T字2車線 + 東側トンネル2車線		<ul style="list-style-type: none"> (上り車線) 朝夕ピーク時等において、交差点に起因する渋滞等が生じる可能性がある。 ⇒渋滞対策に関する詳細な検証が必要。 ※信号の設置等については、公安委員会との協議が必要 (下り車線) トンネル前後で急な上り下りがあることで衝突事故等の懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> トンネルの出入口で史跡回遊エリアやアクセスが一部制限されるが、古墳の本質的価値の保全、歩行者の回遊性及び古墳へのアクセスについて整備案Bに準じる評価ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 約3.5億円 	<ul style="list-style-type: none"> 建物補償 2件(うち再補償0件) 用地買収 800㎡ 11件(うち再買収700㎡ 9件) 	
整備案E 西側S字2車線 + 東側トンネル2車線		<ul style="list-style-type: none"> (下り車線) トンネル前後で急な上り下りがあることで衝突事故等の懸念がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 約3.7億円 	<ul style="list-style-type: none"> 建物補償 5件(うち再補償2件) 用地買収 1,800㎡ 14件(うち再買収1,500㎡ 11件)
整備案D 西側S字2車線 + 東側2車線		<ul style="list-style-type: none"> (下り車線) 国道1号に向かって急な下り勾配となり、安全性に懸念がある。 ⇒速度抑制措置の検討が必要。 			<ul style="list-style-type: none"> 景観を阻害することにより、史跡の本質的価値が伝わりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 約8億円
整備案F 西側T字2車線 + 東側2車線		<ul style="list-style-type: none"> (上り車線) 朝夕ピーク時等において、交差点に起因する渋滞等が生じる可能性がある。 ⇒渋滞対策に関する詳細な検証が必要。 ※信号の設置等については、公安委員会との協議が必要 (下り車線) 国道1号に向かって急な下り勾配となり、安全性に懸念がある。 ⇒速度抑制措置の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡指定を進める上で課題が多い。 道路整備後に、沼津市のシンボルとして高尾山古墳を利活用する上で制約が生じる。 古墳に隣接した歩道がないため、史跡を楽しむ雰囲気になりにくい。 駐車場候補地からのアクセスには横断歩道橋を通る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 約5億円(最小) 	<ul style="list-style-type: none"> 建物補償 2件(うち再補償0件) + 神社倉庫 用地買収 1,200㎡ 12件(うち再買収1,100㎡ 10件) 	
整備案H 西側トンネル2車線 + 東側2車線		<ul style="list-style-type: none"> (下り車線) 国道1号に向かって急な下り勾配となり、安全性に懸念がある。 ⇒速度抑制措置の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ※古墳の物理的保護方法についてさらに検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 約2.6億円 	<ul style="list-style-type: none"> 建物補償 0件(うち再補償0件) + 神社倉庫 用地買収 500㎡ 1件(うち再買収500㎡ 1件) 	

上表の文字色の凡例
 赤字:相対的に優れる
 青字:相対的に劣る
 (交通機能については、課題となる事項)